

研究課題 (テーマ)		チャレンジ the ものづくり	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	知能ロボット工学科	教授	岩井 学
			パステル工房企画管理運営委員会委員 パステル工房スタッフおよび兼任スタッフ
研究結果の概要			
<p>例年実施しているものから、多くの学生にもものづくりを体験してもらえるよう、WebClass の配信メールを使用した全学生へ告知や YouTube での本企画の紹介動画配信等、幅広い広報活動を行い、前年度の3倍超の学生が参加した。</p> <p>○実施結果</p> <p>製作物を①風鈴(真鍮製)、②写真立て(アクリル製)、③リングピロー(真鍮製)、④小物入れ(アクリル製)として、9月7日(月)～11日(金)、9月14日(月)～18日(金)の10日間で募集を行った。参加人数は以下のとおり。</p> <p>①風鈴コース：15名(機械、知能、電子、医薬)</p> <p>②写真立てコース：12名(機械、知能、電子、生物)</p> <p>③リングピローコース：11名(機械、知能、環境、生物)</p> <p>④小物入れコース：25名(機械、知能、電子、情報)</p> <p>見学者含め合計のべ63名(実人数59名)の学生が参加した(R1年度：20名)。</p> <p>チャレンジ the ものづくりの参加者にアンケートを実施した結果、概ね満足した結果が得られた。特に、普段使用しない機械を使用できたこと、機械の使い方を改めて学ぶことができたなどの例年と同様の感想のほか、欲しいものを自分で手作りすることができ良かったといった感想もあった。一方、難しかったといった声や開催の時間帯を変えてほしいとの声もあった。このことから、実施方法には改善の余地があるものの、幅広い学生に技能習得の契機を十分に提供できたものと思われる。</p>			
今後の展開			
<p>今後も、ものづくり研修会・コンテストの実施により、ものづくりの基礎的技能の習得とその技能向上を図り、研究活動に活かすことができるように定着を促進する。</p>			